

# 芝山湿地ぞより

第1号 平成28年6月9日 千葉県立船橋芝山高等学校・里山生態園「芝山湿地」 ロゴデザイン：齊藤優貴美

## 田植えしました！

5月31日、今年も、学校ビオトープ「芝山湿地」で、学校設定科目「湿地に学ぶ」選択者による田植えが行われました。平成28年度の品種は、「朝紫」（黒米・もち）と「ひとめぼれ」（うるち）です。4月の播種から育苗、代かきと、生徒自身が種籾から育てた苗を、心を込めて丁寧に植えました。秋の収穫、そして新年の餅つきが楽しみです！



## 樹木に学ぶ

1年生の「生物基礎」では、全クラスで校庭の樹木の観察と実物鑑定を行っています。船橋芝山高校の敷地にある樹木・38種を2時間かけて観察し、その後教室で実物鑑定のテストがあります。皆、真剣そのものでした。



# ●学校設定科目「湿地に学ぶ」生徒のコメント

▲僕が「湿地に学ぶ」を選択した理由は、3年生になったときにテストの教科が1つ減るから楽だろう、という感じでした。「どうせ授業はつまらないだろう」と思っていたのですが、実際は違いました。

田植えを全員でした時の達成感や芝山湿地に行った時のワクワク感があり、「湿地に学ぶ」を選択してとても良かったと思いました。

メンバーでインディカ米を炊飯して自分の好きなおかずを持参して食べた時の楽しさは、この先ずっと忘れることはないと思います。自分たちで植物を育てるので、その成長を観察するのが、とても楽しみです。

▲私は、湿地に学んで印象に残ったのは、田植え前の草刈りです。草刈りで、先生に「これはミョウガだから抜かないでね」と言われたのを間違いをして4・5本も抜いてしまいました。先生には怒られたけど、私はすごく楽しかったです。でも、人の話はしっかり聞こうと思いました。

▲「湿地に学ぶ」を履修して、思った以上に楽しかったです。実際に「芝山湿地」に行ってみて、想像していたより沢山の生き物がいました。初めて田植えの体験をしましたが、大変で苦労しました。その分、達成感があって楽しかったです。

今、「芝山湿地」は深刻な水不足に悩まされています。そういう環境に対して、考えるととても良い機会になります。田植えをするだけだと思っている人もいるだろうけど、インディカ米を食べたり、餅を食べたり、楽しいことばかりです。

▲これまで「湿地に学ぶ」をやってきて、耕したり植えたり、体力が意外と必要で大変なことも多いけど、やりがいを感じることができました。サトイモを植えたり、お米の苗を植えたり、普通体験できないようなことがたくさん勉強できたし、農家の人たちの大変さも少しでもわかることができたと思います。これからも、農家の人たちと食べ物への感謝を大切にしていきたいです。

サトイモやお米を育てるのを頑張って、早く食べたいです。普段食べないインディカ米を食べて、ふりかけは合わなかったけど、お茶漬とかピラフが美味しかったです。また、芝山のまわりを探訪して、どんな構造なのか知ることができました。

▲慣れない長靴の作業での田植えは、疲れはしましたが楽しく、とても有意義な時間になったと思う。

授業で食べたインディカ米がとてもおいしく、それだけで「湿地に学ぶ」を選んで良かった。

自分たちで育てた米を食べる日が、待ち遠しい。

▲「芝山湿地」では、様々な生物が見られ、日常生活で経験できそうにないことを経験することができます。

例を挙げると、生物だとメダカ・ドジョウ・ニホントカゲ・ケラなどで、経験できそうにないことだと田植え・サトイモの栽培などです。自然が好きな自分にとっては、かなり楽しい授業です。

▲「湿地に学ぶ」をやってきて、一番学ぶことができたのは、自然のありがたみです。初めて稲作を体験して、農家の人たちの苦労がわかりました。天候だったり、土の様子だったり、時期だったり、植え方だったり、全てのことが満たされていないといけないので、丁寧に手間をかけて愛情込めて、収穫のシーズンを待ちたいです。この稲作の苦労を知れたので、毎日のご飯は「いただきます」「ごちそうさまでした」を忘れずに感謝して食べたいと思います。

この船橋芝山高校の、緑が豊かで自然に囲まれた素晴らしい土地を、「湿地に学ぶ」では、深く触れ合うことが出来ますし、たくさんの経験ができます。船橋芝山高校の特徴も知れて、より芝山への関心が強くなってきました。これからも、いろいろな発見と経験をしたいと思います。

▲「湿地に学ぶ」では、田植えやサトイモの植え付けをしました。土を耕したり、大変だったので、おいしく出来ればいいと思います。秋には、芋煮会、冬には餅つきをする予定なので、楽しみです。

今までには、インディカ米を食べ、イメージより美味しかったです。授業は主に「芝山湿地」で行うので、息抜きにはちょうど良い授業です。

▲サトイモや稲を植えてみて、サトイモは一度植えたら何もしないとあってたけど、「土寄せ」という作業をやるということで、驚いた。初め、クワが大変だったけど、少しはできるようになって良かった。カマも力を入れずに草を刈ることができるらしいけど、下手くそで上手くできなかった。サトイモができたら、芋煮会が開催されると嬉しい。

▲「湿地に学ぶ」を選択し、今まで学習し、サトイモを育てる農作業や稲作で「代かき」「田植え」をして、思った以上の体力や筋力を使う重労働で、農家の方々の苦労がよくわかった。また、普段できない体験ばかりなので、やっていて楽しいと思う。

特に良かったのは、インディカ米の美味しい食べ方を学んだ時間で、グリーンカレーが一番美味しく感じた。

これからはさらに重労働が増えると思うので、がんばりたい。

▲「湿地に学ぶ」では、他の学校では体験できない田植え、畑作りが体験できました。これから先きっと、体験できない内容で、貴重で楽しいものでした。植えた稲やサトイモが、どのようになってどんな味がするのか、楽しみです。湿地に学ばないと損だと思います！

▲最初は、お餅目当てで選んだけれど、授業を重ねていくうちに、スコップやクワで畑を耕したり、いろいろな生き物の観察をしたりと、実習ばかりの授業で大変だけど、本当に楽しく受けています。

最近では、稲を育てるための準備から田植えまでやって、実際にやらないと分からないことも多く、充実した時間になりました。最後の授業まで、楽しんでいきたいと思っています。